

(指定様式)

## 団体調書【新規事業チャレンジ部門】

### (1) 団体概要

団体名	特定非営利活動法人 豊田ハンディキャブの会	HP 等 URL	<a href="https://bit.ly/3AaU7HK">https://bit.ly/3AaU7HK</a>
団体種別と 設立年月	■NPO 法人 (2005 年 5 月)	活動分野	1
代表者名	役職名：理事長 氏 名：木本光宣	会員数	120 名
団体連絡先 (申請担当者)			


### (2) 会員名簿

--	--

### (3) 団体の活動目的

活動の目的・目標	<p>1993 年 12 月から活動を継続しています。</p> <p>発会当時は、車いす利用者が 1 人で出歩くことも難しく、生活していくために必要な、通学、通院、買い物、娯楽などの送迎のほとんどを 家族や親戚などに頼るしかなく、外出をあきらめてしまうことも多い時代でした。</p> <p>障がいの有無にかかわらず、生涯にわたり移動は必要です。移動困難な障がい者・高齢者の社会参加の促進と生活の利便を図ることを目的としています。</p>
活動の内容・活動実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・福祉車両を用いた移送サービス (福祉有償運送) 2022 年実績 1,403 件。累計送迎件数 60,000 件以上</li><li>・2004 年から福祉有償運送の運転者に対し、2 種免許取得に替わる運転協力者講習会を継続。</li><li>・とよたおいでんバス運行事業者と乗務員に対し、コミュニケーション研修を継続。(本助成金から委託事業になりました)</li></ul>

(4) 審査項目毎にアピールしたいこと

<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会課題に対して、団体の活動目的が明確となっているか。(趣味や娯楽、特定の個人や団体の利益が目的となっていないか)</li> </ul>	<p>2020 年から開催している、小学生向けの夏やすみ企画「車いすで自由研究しりん!!」において、明らかになった共通課題は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道やその周辺がボコボコじゃりじゃりしていて歩きにくい</li> <li>・案内表示がわかりづらい</li> <li>・普段立ってできていることとは違う</li> </ul>
<p><b>【資金】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の自主的な財源を確保しようとしているか(会費・参加費等)。</li> </ul>	<p>1 年目は以下 2 点に重点を置く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FixMyStreet という、まちあるきアプリを広く知ってもらうこと</li> <li>・ FixMyStreet に投稿し慣れている方を増やすこと</li> </ul> <p>できるだけ間口を広げたいため、参加者に金銭的な負担はないようにする。</p> 
<p><b>【継続性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の組織的な活動ができる体制が整っているか。</li> <li>・適正な事業計画が作成されているか。</li> </ul>	<p>本会送迎利用者と運転ボランティア、その他関係者からの有志をメインの参加者とする。</p> <p>これら以外の方へのアプローチは、広報とよた、SNS、動画投稿サイト などで行う。</p> <p>2023 年度は 5 回程度の開催を予定している。</p> <p>✓3 回は車いすで自由研究しりん!!とコラボする。 (まちあるき 3 箇所：豊田市駅前、中山間観光地、ころもまつり)</p> <p>✓2 回程度は、アプリを車いす利用者目線で使用するためのフィールドワークを行う。</p>
<p><b>【組織強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の組織強化への取組が明確になっているか。</li> <li>・必要な資源(人・モノ・情報)の確保の方針や計画が明確になっているか。</li> </ul>	<p>障害のある方、高齢者、ベビーカー、通勤通学時の道路での困りごとを FixMyStreet へ投稿することで、まちづくりや BF/UD について関心を持てるような環境整備が重要であると考えている。</p> <p>「気になったらパッと投稿する」を広めたい。</p> <p>3 年の間に一定数の投稿者が集まれば、その後は、口コミなどで継続されていくものと考えている。</p> <p>協力予定者・共同研究者 豊田都市交通研究所、大同大学、豊橋技術科学大学、トヨタ自動車 MS ボデー設計部と関連会社、自立生活センター十彩 など</p>
<p><b>【実現性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業に対する 2 年もしくは 3 年後の目標が明確で、計画ができてきているか。</li> </ul>	<p>2 年目調査予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい(3 名程度)、とその介助者 団体のヒアリング</li> <li>・駅周辺、バス停周辺、公共施設周辺</li> </ul> <p>3 年目調査予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベビーカー世代が集まる市民活動団体、自転車利用者、運送業者へのヒアリング</li> <li>・学校周辺(高校 2 校程度、中学 2 校程度)</li> </ul>

(指定様式)

## 3か年・2か年事業計画説明書【新規事業チャレンジ部門】

(団体名：特定非営利活動法人豊田ハンディキャブの会)

(1) 新規事業の名称	まちあるきアプリを使った BF/UD 情報の集約
(2) 新規事業実施のきっかけ	※申請する新規事業を行うことに至った動機やこれまでの経緯等を記入。 2020 年から、小学生向けの夏やすみ企画「車いすで自由研究しりん!!」を開催している。当該活動は、小学校 4 年生から 6 年生を対象に実施しており、バリアフリー(以降、BF)ユニバーサルデザイン(以降、UD)について知ってもらうこと、学びを活かして、まちなかやまのまちあるき・公共交通機関を、自らが車いすに乗って体感するものである。 子どもたちが、まちなかもやまも共通して課題だと感じた箇所は、『歩道やその周辺の凸凹』『案内表示の分かりにくさ』であった。 これらの結果を、紙ベースで集約しているため、自由研究に参加した方以外には本情報に触れることが難しい。WEB 上にまとめ、誰でも見られるようにすることで、こういう歩道(道路)・案内表示状況であることを知ったうえで、自分が行くか行かないか判断できるようにしたいと考えたため。
(3) 新規事業の目的、期待できる効果、3年後または2年後の目標	※申請する新規事業によって、何を目指し、何が期待できるのかを記入。  『さまざまな立場の方の困りごとを、同じテーブルに乗せることができる』 ⇒・BF/UD についての共通部分や、相容れられない部分が見えるようになる。 ・相容れられない部分について、理由を共通認識し相互理解し合うことで、心理的に住みやすいまちづくりにつながると考えている。
(4) 新規事業の内容	※申請する新規事業の実施方法、対象者、実施時期、場所、回数、市民への周知方法、参加予定人員等を含め、その内容を具体的に記入。  ・実施方法 参加者自らが車いすに乗り、出発地や目的地を決めたまちあるき(えきまえ、中山間観光地)をおこなう。 ・対象者 小学生、障がいを持つ方(身体、視覚)、ベビーカー使用者、企業ボラ 自転車利用者、運送業者 など ・実施時期 2023 年 6 月から 2024 年 2 月 ・場所 豊田市駅、中山間観光地、駅前、バス停、学校、公共施設 などの周辺 ・回数 5 回程度/年 ・周知方法 広報とよた、本会会報、SNS、動画投稿サイト など ・参加人数 10 名から 15 名程度/回

<p>○ 実施上の工夫（※目的達成のため、特に創意工夫する点を記入。）  「アプリをインストールする」が最初の難しさであると考えている。  ・スタッフが個人で所有しているスマホやタブレットにアプリをインストールして、まずはそれらを使って体験してみることに  ・投稿に関する方法マニュアルや枕詞などを準備すること  により、参加者の心理的ハードルを下げたいと考えている。  継続的な取り組みには、達成感やいかに面白がれるかが大切であるため、1年目の参加者の反応を見ながら、工夫につなげていきたいと考えている。</p>	
<p>○ 1年目の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本会関係者でFixMyStreetを使ってみることで使い慣れる。</li> <li>・車いす利用者とまちあるきを行う。</li> <li>・コラボ先 車いすで自由研究しりん!!2023</li> </ul>	<p>○ 補助申請額 【 118,000 円】</p> <p>○ 補助金の使途（科目、支払額等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費 謝礼、事務局費 72,000 円</li> <li>・旅費交通費 48,000 円</li> <li>・消耗品費 14,000 円</li> <li>・印刷製本費 20,000 円</li> <li>・通信運搬費 3,000 円</li> <li>・保険料 行事保険 10,000 円</li> <li>・使用料 会場使用料 10,000 円</li> </ul>
<p>○ 2年目の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす利用者とまちあるきを行う。</li> <li>・視覚障がいのある方とその介助者と共 まちあるきを行う。</li> <li>・支援団体に視覚障がいのある方のBF/UDに ついてヒアリングを行い、他の立場の方々との 違いをまとめる。</li> <li>・豊田市内の主要駅、バス停周辺の調査を行う。</li> <li>・学生（市内高校生、大学生）に調査協力依頼。</li> <li>・コラボ先：車いすで自由研究しりん!!2024</li> <li>・報告 JCOMM（日本ヒアリング・マネジメント会議） SNS、動画投稿サイト</li> </ul>	<p>○ 補助申請予定額【 200,000 円】</p> <p>○ 補助金の使途（科目、支払額等）</p> <p>1年目実施分報告のための旅費交通費を 加算する。</p>
<p>○ 3年目の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす利用者とまちあるきを行う。</li> <li>・ベビーカーを使用している世代が集まる市民活 動団体、自転車利用者、運送業者に対するヒア リングを行う。</li> <li>・学校周辺のまちあるきを行う （市内高校2校程度、中学2校程度）</li> <li>・コラボ先：車いすで自由研究しりん!!2025</li> <li>・報告 日本福祉のまちづくり学会全国大会 SNS、動画投稿サイト</li> </ul>	<p>○ 補助申請予定額【 200,000 円】</p> <p>○ 補助金の使途（科目、支払額等）</p> <p>2年目と同様</p>